千葉県日独協会通信　NO. 11　1999年（平成11年）10月25日

Die Eiche

ディ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba
事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-518-1 第二ワールド ナーシング ホーム内
TEL 047-461-9111　FAX 047-461-7010

講演会とビール祭り

乾杯の音頭をとる林理事長

恒例の第4回ビール祭りは、本場ドイツのオクトーバー・フェストが始まる9月18日（土）に「ジョン万次郎」船橋店にて開催された。今回は、まず3時すぎより、当協会副会長で杏林大学社会科学部部長・元時事通信社解説委員、田久保忠衛氏に「今日の国際情勢」と題して約1時間の講演（要旨下記）をお願いした後、加藤会長が挨拶。林当協会理事長の乾杯の音頭でビール祭りに移り、飲み放題の「レーベンブロイ」（ドイツビール）と食事を楽しみ、昨年同様、二宮氏の歌唱指導、土生氏のアコーディオン演奏でドイツ民謡の合唱。そして伊藤治昌元御宿町長・江口幸一自衛隊千葉地連部長ら参加者30名の自己紹介のあと、当協会古倉理事提供の高級ワイン2本を含む8本のワイン、都内レストランの割引券、映画招待券、「オリゴのおかげ」等の当るクジ引きを行い6時半閉会した。

「今日の国際情勢」

千葉県日独協会副会長
田久保忠衛氏

国際情勢は事実が物を言うのであり、大局から見る事が必要である。先ず、コソボ問題であるが、九〇%を占めるアルバニア人に対し行われていたセルビア人による残虐行為を許していたミロシェビッチ政府に対しNATOは三月二十三日より空爆を開始。日本のマスコミは、「国際法違反」「誤爆」を強調していたが、重要なのは「国連憲章」よりも「世界人権宣言」を優先させる事。ドイツでは社民党のシュレーダー首相、緑の党のフィッシャー副首相兼外務大臣が一国平和主義は許されないとしてトーネード出撃機を参加させた。これは戦後、日本と同様、基本法（憲法）に縛られていたドイツが民主主義を守るべく完全に変身した為。即ち、湾岸戦争では基本法がNATOの域外派兵を認めていなかったのでドイツは最も危険な地中海東部の防衛を担当、また九二年には憲法裁判所が「NATOの一員として義務を果たすべき」として域外派兵を認めていたのである。東チモール問題では東チモール住民を残虐非道から守ろうとする他国籍軍に対し日本政府は、「インドネシア政府の声に耳を傾けるべき」と「国籍軍が派遣されたのは、インドネシアの主権よりコメントする等、ピントがズレていた。多国籍軍に参加出来る「真の民主主義国家」になるには、日本の態度は、「国際貢献の代りに経済援助である。」と勘弁してもらう「文民国家」の選択の結果だったのである。湾岸戦争、コソボの空爆、東チモール、いずれにも共通していた。

今後の催物案内

■ ドイツ軍人病没者追悼慰霊祭
日時：11月14日（日）11:00AM～
場所：船橋市習志野霊園内
JR津田沼駅（北口）前よりバス10分
自衛隊前下車　徒歩7分
（詳細は事務局まで）

■ 講演会とドイツ・ワイン試飲会
日時：11月21日（日）
13:15～　講演会
「化学物質は何故地球を汚染したか」
講師　帝京平成大学　美浦教授
14:30～　ワイン試飲会
場所：船橋市東部　公民館
JR　津田沼駅　北口下車　徒歩3分
パルコ隣千葉銀行横入る（詳細は事務局まで）
会費：2,500円

■ クリスマス・パーティ（主催：(財) 日独協会
日時：12月13日（月）18:00PM～
場所：ホテル・ニューオータニ
会費：10,000円（同伴家族　9,000円）

■ ベートーベン「第九」演奏会
主催：習志野市第九演奏会実行委員会
日時：12月19日（日）1:30PM～
場所：習志野文化ホール（JR津田沼駅南口）
入場料：A席　3,500円、B席3,000円（前売券は文化ホールまで）

■ 同時開催：習志野ドイツ捕虜収容所史料展
場所：習志野文化ホール「ホワイエ」10:00～17:00
入場無料

◎お詫び：10月10日に予定していた水戸偕楽園へのバス旅行は、9月30日の東海村臨界事故の為、中止となりました。参加を申し込まれた方々には、悪しからずご了承下さい。

駐日ドイツ連邦大使にDr.ウーヴェ・ケストナー氏

9月12日、エルベ大使の後任としてDr.ケストナー氏が着任。略歴は以下の通り。

1939年2月8日　ドレスデン生れ　60歳
1958～62年　フライブルグ、ボン、ケルン大学で法律学を修得する。
1963年　連邦外務省入省
1966～84年　ﾌﾞﾗｼﾞﾙ・ｴｸｱﾄﾞﾙ・ｿ連大使館勤務
1986年～98年　南アフリカ共和国大使
1998年　12月1日　外務省政務局長

ベルリン・コンツェルトハウス前の筆者

ワイマール・ゲーテハウス前の一行

「ドイツ周遊の旅」に参加して

国枝　誠明

去る九月二五日から十月三日までの九日間、湘南日独協会主催のゲーテ街道を中心とするドイツ周遊の旅に参加し、ドイツの空気とビールを一杯、京大いに楽しんできました。参加者は総勢二四名（湘南4、長野県16、千葉1）。

この旅行の特徴は三つあったと思います。

「ドイツにおける日本年」開会式出席

一つは、ドイツ連邦共和国建国五十年の節目にあたって「ドイツにおける日本年」開会式が九月ニ七日ベルリンのコンツェルトハウスで行われ、私たち一行は、ドイツ連邦共和国大統領主催の開会式（約千人出席）に出席しました。

ドイツ連邦共和国大統領主催の開会式に出席したこと

ドイツ連邦共和国大統領主催の開会式に出席したこと

ドイツ連邦共和国大統領主催の開会式に出席したこと